

NSG

GROUP



NSG グループ

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～ 2015年3月31日)

日本板硝子株式会社
2015年5月14日

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

諸岡 賢一

執行役副社長

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

要点：2014年4月－2015年3月



- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は前年比**13%**改善し、当期利益が黒字化
- コスト削減による効果が反映し利益改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 通期	14年3月期 通期	前年比
売上高	6,267	6,061	3%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益 償却費*	252 (84)	224 (79)	13%
個別開示項目前営業利益	168	145	
個別開示項目	55	(138)	
営業利益	223	7	
金融費用(純額)	(179)	(168)	
持分法による投資利益	4	10	
税引前利益(損失)	48	(151)	
当期利益(損失)	29	(155)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	17	(166)	
EBITDA	579	544	6%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと0%

コスト削減の効果と市場の状況を反映した利益状況

個別開示項目



(億円)

投資の分類変更による評価益
有形固定資産等の売却による利益
リストラクチャリング費用
関連会社に対する投資の評価損
その他

15年3月期
通期

133

51

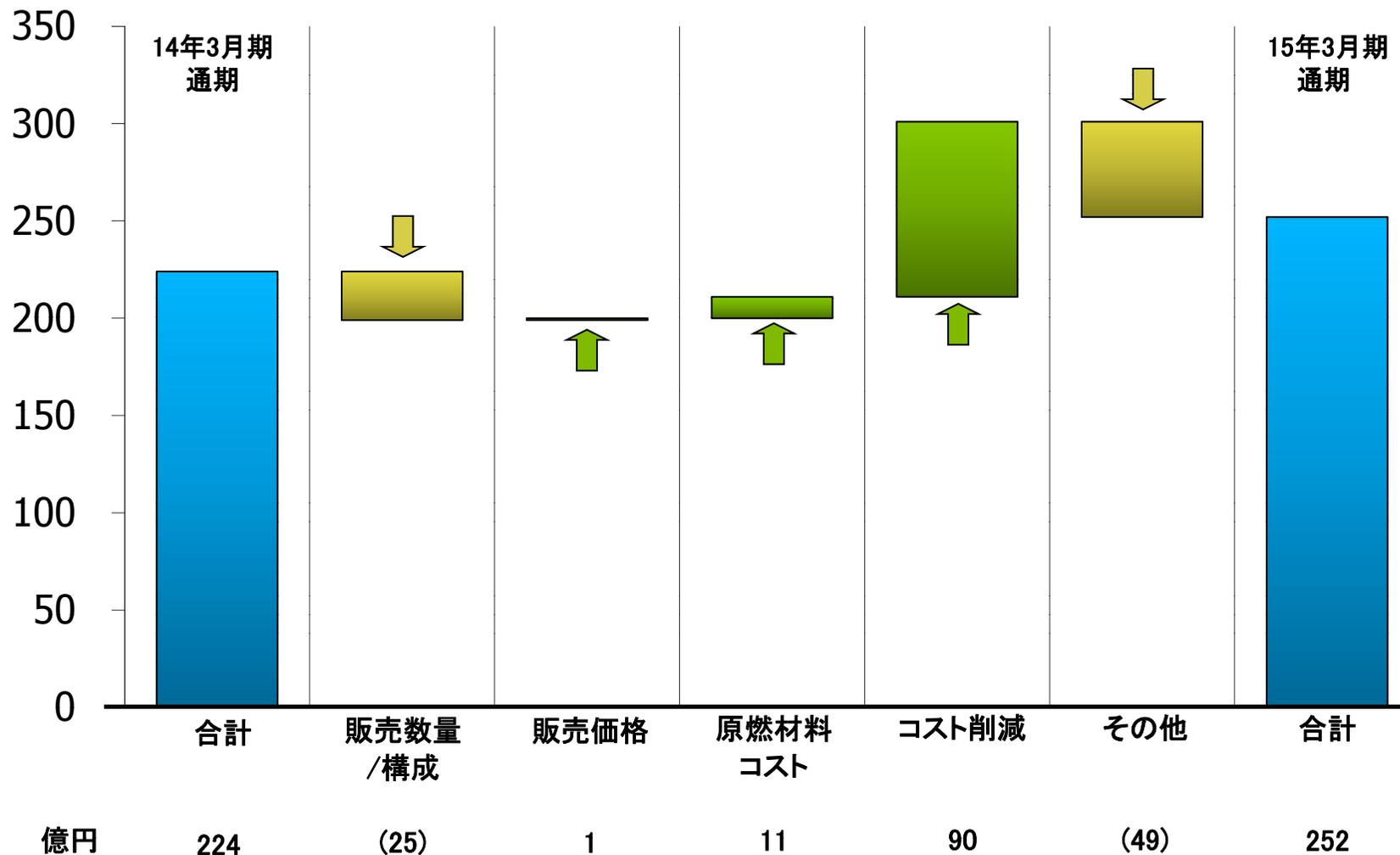
(89)

(21)

(19)

55

個別開示項目前営業利益差異分析 (無形資産償却前)



コスト削減による利益改善

連結キャッシュ・フロー



(億円)	<u>15年3月期</u> 通期	<u>14年3月期</u> 通期	<u>13年3月期</u> 通期
当期利益(損失)	29	(155)	(335)
減価償却費	417	404	366
運転資本の減少	139	152	217
法人所得税支払額	(42)	(37)	(60)
有形固定資産除売却損益	(52)	(6)	(9)
投資の分類変更による評価益	(133)	-	-
その他	(112)	(179)	(37)
営業活動によるキャッシュ・フロー	246	179	142
固定資産の取得	(326)	(257)	(256)
その他	94	86	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	(232)	(171)	(70)
フリー・キャッシュ・フロー	14	8	72

負債削減のため、キャッシュの管理に注力

主要財務指標(KPI)



	<u>2015年3月末</u>	<u>2014年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,741	3,791
ネット借入/EBITDA	6.5x	7.0x
ネット借入/純資産比率	2.0	2.0
	<u>2015年3月期 通期</u>	<u>2014年3月期 通期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.7x	3.7x
営業利益率*	4.0%	3.7%

*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

収益改善を反映したKPI

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

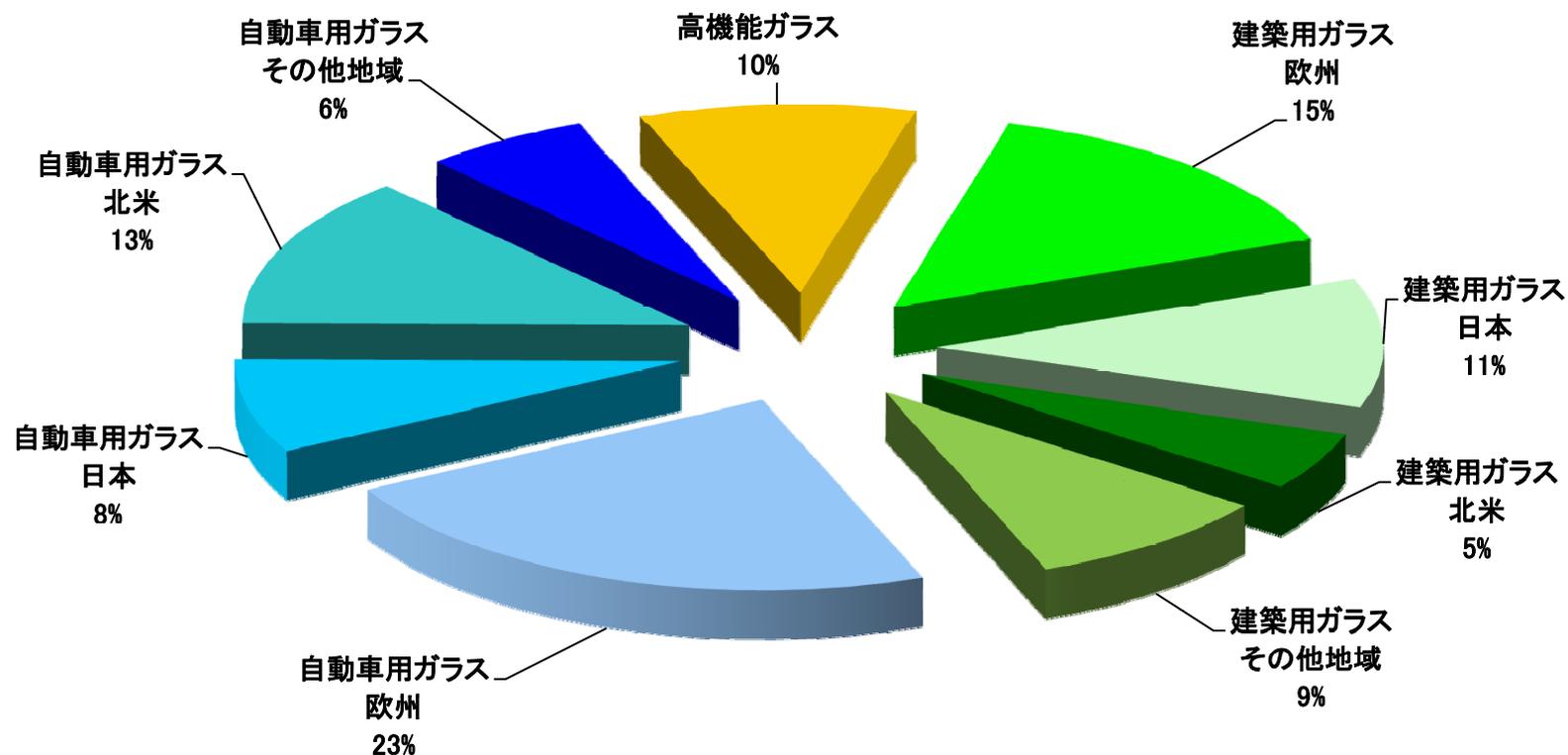
中期経営計画の進捗

まとめ

事業別売上高



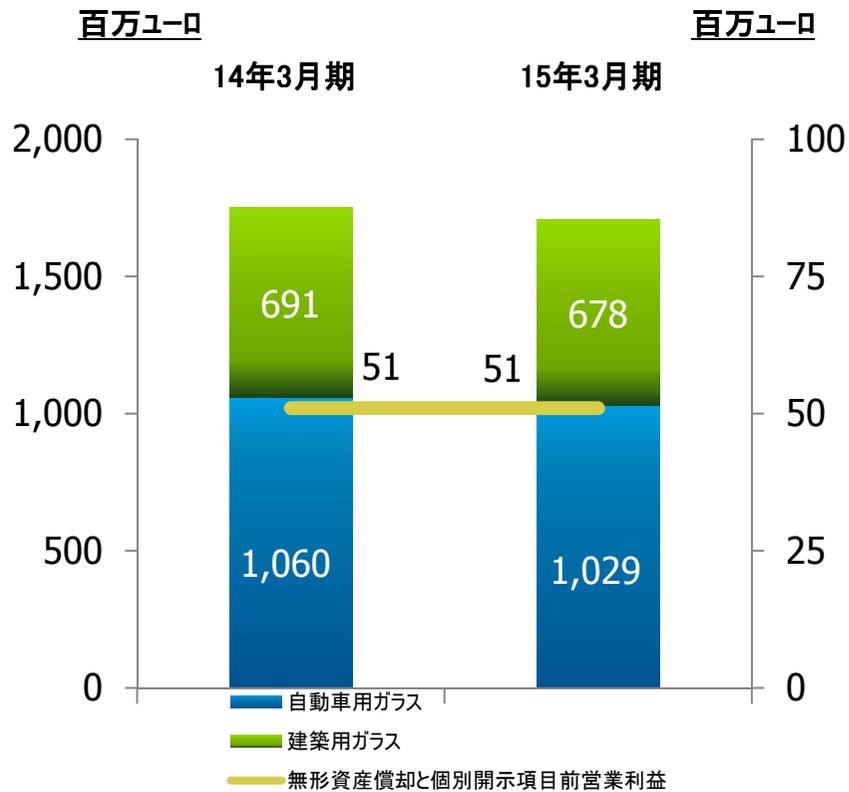
6,267億円



2015年3月期
(2014年4月 - 2015年3月)

欧州

2014年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

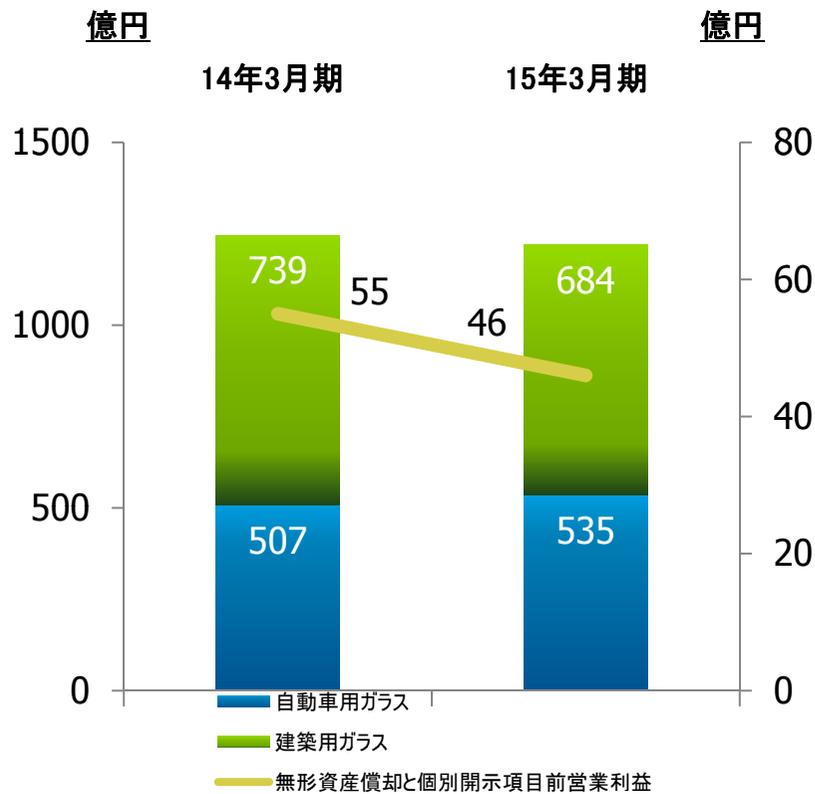
- 市場状況は安定
- 販売数量は減少したが、前年度にて実施した生産能力の削減により稼働率が向上

自動車用ガラス事業

- 売上と利益は概ね前年度と同様の水準
- 第4四半期において、市場状況に改善の兆候

日本

2014年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

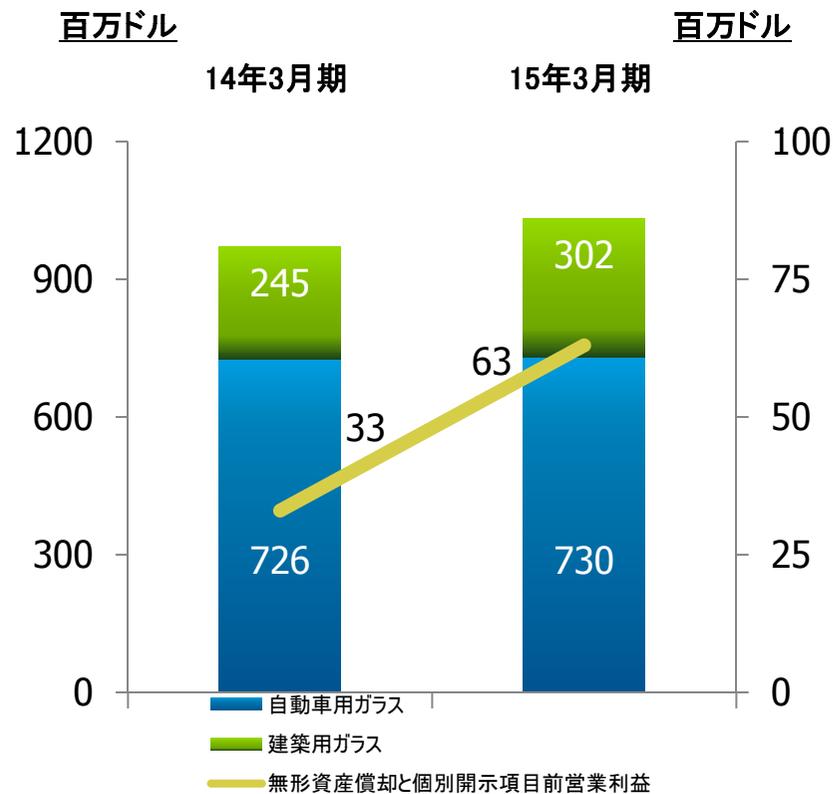
- 消費増税による数量減の影響を受け減収

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの市場は好調であったが、第4四半期では弱含みの兆候が見られた
- 投入コスト増加の影響は、コスト削減と設備稼働率の向上によって一部相殺

北米

2014年3月期通期との比較



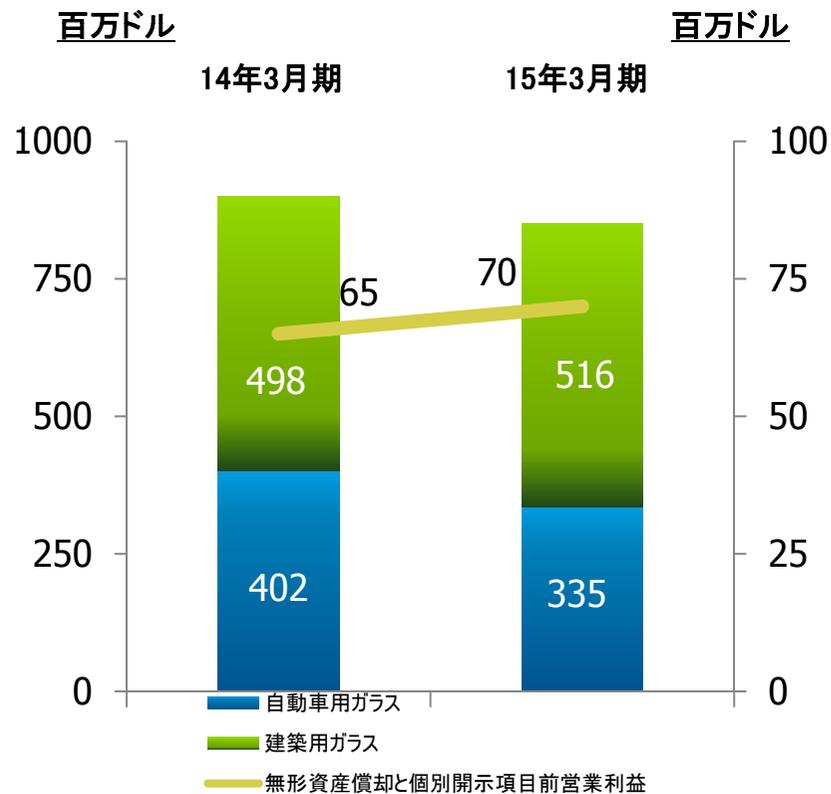
建築用ガラス事業

- 国内及びソーラー用ガラスの需要増加により、増収増益
- 価格水準は前年度を上回る

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスは、市場における数量増加により増収、各種改善が増益に寄与
- 補修(AGR)用ガラスは堅調な需要を享受

その他地域 2014年3月期通期との比較



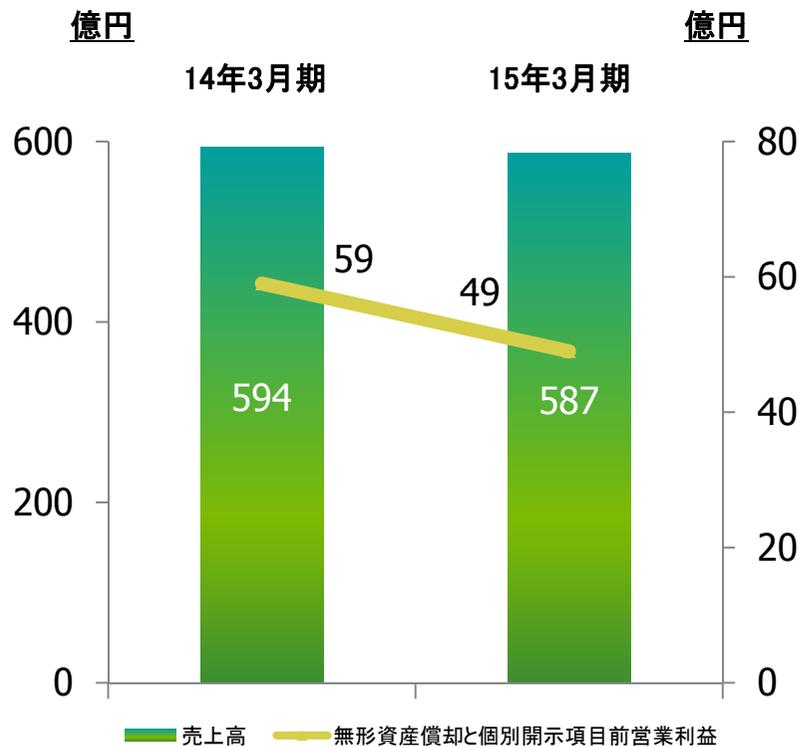
建築用ガラス事業

- 東南アジアでは、国内需要が改善しソーラー用ガラスの出荷も増加
- 南米の売上(米ドルベース)は前年と同様の水準

自動車用ガラス事業

- 東南アジアにおける新車(OE)用ガラスの売上は前年並
- 南米は、厳しい経済状況の影響により、減収減益

高機能ガラス事業 2014年3月期通期との比較



高機能ガラス事業

- ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けている
- オフィス向けプリンター用レンズの需要が堅調
- グラスコードは前年並みの数量

持分法適用会社 2014年3月期通期との比較



億円	<u>15年3月期</u> <u>通期</u>	<u>14年3月期</u> <u>通期</u>
持分法による投資利益	4	10

- ロシアのジョイント・ベンチャーでは、低調な経済情勢とルーブル通貨の下落により、利益が減少
- 南米の利益は改善
- 中国の利益は前年を下回った

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

2016年3月期通期業績予想



欧州

- 建築用ガラス市場は概ね横ばいで推移
- 自動車用ガラス市場では、2015年3月期第4四半期に見られた回復傾向の継続を見込む

日本

- 建築用ガラス市場の緩やかな改善により、稼働率の改善を見込む
- 自動車用ガラス市場は横ばいを想定しているが、各種改善を見込む

2016年3月期通期業績予想



北米

- 数量は堅調に推移
- 自動車用ガラス事業でさらに収益性改善

その他の地域

- 東南アジア市場の状況は更に改善
- 南米では、自動車用事業の稼働率改善のための施策を実行

高機能ガラス

- 事業の見通しは依然としてポジティブ

2016年3月期通期業績予想



(億円)

売上高

無形資産償却前営業利益

償却費 *

営業利益

個別開示項目

金融費用(純額)

持分法による投資利益

税引前利益

当期利益

親会社の所有者に帰属する当期利益

	2016年3月期 見通し	2015年3月期 実績
売上高	6,550	6,267
無形資産償却前営業利益	320	252
償却費 *	(80)	(84)
営業利益	240	168
個別開示項目	-	55
金融費用(純額)	(180)	(179)
持分法による投資利益	20	4
税引前利益	80	48
当期利益	35	29
親会社の所有者に帰属する当期利益	20	17

* ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

市場状況の緩やかな改善を想定

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

中期経営計画の進捗



- 好不調な地域が混在する中、低調な事業については改善策を実施、好調な事業については更に収益増強
- 稼働率改善は計画通り進捗
- 各事業においてVA商品の立ち上げは計画通り。重点戦略として、引き続き注力
- これまでのリストラ中心の守勢から、今後、増収増益の攻めに重点移行
- 基本戦略は、設備稼働率の極大化とVA比率の向上

戦略ビジョン「VAガラスカンパニー」に向けたアクションの加速

- **コスト競争力の向上**
～製造効率(稼働率)向上とコスト削減に引き続き注力
- **建築用・自動車用ガラス事業**
～高付加価値製品・サービスの提供
- **高機能ガラス事業**
～新しい価値を持った製品・サービスの提供
～先進市場の開拓
- **各地域事業の戦略実行の加速**
～経営資源の重点配分

2015年3月期通期決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

まとめ



- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は前年比**13%**改善し、当期利益が黒字化
- コスト削減による効果が反映し利益改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- **2016年3月期**において、市場状況の緩やかな改善を想定
- 基本戦略に変更なし

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2014年4月1日～2015年3月31日)



(億円)	欧州	日本	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	945	684	332	568	2,529
自動車用ガラス	1,434	535	803	368	3,140
高機能ガラス	80	315	12	180	587
その他	1	10	0	0	11
合計	2,460	1,544	1,147	1,116	6,267

償却前営業利益*

(2014年4月1日～2015年3月31日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	170	94	49	(61)	252

(億円)	欧州	日本	北米	その他地域	合計
営業利益*	60	50	65	77	252

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

為替レート



	2014年3月期 通期	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期前提
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	159	177	180
円/ユーロ	134	139	130
円/米ドル	100	110	110
期末為替レート:			
円/英ポンド	171	178	
円/ユーロ	141	130	
円/米ドル	103	120	

NSG

GROUP